

## ■公共交通の中間評価の対応について

資料 5 - 1

地域公共交通網形成計画の中間評価として、住民・利用者の現状の公共交通の利用実態、バスサービスに対する満足度、改善点を確認する意向調査を行う。

### 1. 住民アンケート調査

	前回調査（平成 25 年度）	今回調査（平成 29 年度）
狙い・違い	住民の外出行動、公共交通の利用実態、財政投入に対する理解を中心に検討。	外出行動、公共交通の利用実態、満足度等については、定点観測のため、同設問を踏襲。 形原地区支線バス等の「コミュニティバスの事業化」の意向を追加確認。
調査方法等	満 16 歳以上の市民 直接郵送配布・回収 サンプル数=6,000 件 平成 25 年 9 月実施	前回と同じ方法 サンプル数のみ縮小=3,000 件 ※単純集計による傾向把握にとどまるため
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性（性別、年齢、居住地等）</li> <li>・目的別交通手段</li> <li>・バスの利用実態と満足度</li> <li>・鉄道の利用実態と満足度</li> <li>・将来の公共交通に対する意見</li> <li>・財政投入に対する意見</li> <li>・利用しない理由、将来の利用意向</li> <li>・その他自由意見</li> </ul> ※寿楽荘の送迎バス利用実態 ※観光バスの導入意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性（性別、年齢、居住地等）</li> <li>・目的別交通手段</li> <li>・バスの利用実態と満足度</li> <li>・鉄道の利用実態と満足度</li> <li>・将来の公共交通に対する意見</li> <li>・財政投入に対する意見</li> <li>・利用しない理由、将来の利用意向</li> <li>・その他自由意見</li> </ul> ※形原地区支線バスの認知度と事業化に対する意見

### 2. 利用者アンケート調査（路線バス・形原地区支線バスの利用者）

	前回調査（平成 25 年度）	今回調査（平成 29 年度）
狙い・違い	利用目的（目的地）と満足度を中心に確認。	項目別サービス満足度と形原地区支線バスの評価を中心に確認。
調査方法等	路線バス利用者 直接配布・郵送回収 サンプル数=942 人 平成 25 年 10 月の 2 日間	前回と同じ方法  ※形原地区支線バスも対象
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時刻、乗降バス停</li> <li>※利用目的、目的地</li> <li>※満足度とその理由</li> <li>・サービス水準に対する意向</li> <li>・属性（年齢、性別、居住地等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時刻、乗降バス停</li> <li>※利用目的</li> <li>※項目別の満足度・不満点</li> <li>※形原地区支線バス事業に対する意向</li> <li>・サービス水準に対する意向</li> <li>・属性（年齢、性別、居住地等）</li> </ul>